

なん  
ほろ

# 議会だより



信頼と信用で築いた34年 ~なんほろみどり会~

第3回  
定例会

9月8日~14日

## 防災行政無線設置条例を可決

9月定例会は9月8日に開会し、町長一般行政報告に続き2名の議員が3項目について一般質問を行いました。その後、財政健全化判断比率等の報告、平成27年度の各会計決算認定を決算特別委員会に付託（9日から13日までの休会中に審議。審議内容は15点）、補正予算など8件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

本会議は14日に再開し、条例制定、人事案件、決算認定など20件を審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

平成27年度決算認定

○一般会計・5特別会計

○病院事業会計

一般会計ほか5特別会計及び病院事業会計決算は、決算審査特別委員会を設置して審議した結果、本会議において各会計とも原案のとおり認定されました。

専決処分

○平成28年度病院事業会計補正予算(第2号)

老朽化によりボイラーが故障したため、改修に係る工事請負費を追加するものです。

平成28年度補正予算

○一般会計

補正予算(第2号)

主に歳入では、普通交付税確定に伴う減額、地域づくり総合交付金、ふるさと応援寄附金、平成27年度繰越金確定に伴う追加。

歳出では、社会保障・税番号制度システム整備経費、南空知4町知名度向上推進事業、機場施設管理修繕料の追加によるものです。

○国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正予算(第1号)

主に歳入では、平成28年度保険税退職被保険者分の減額、国庫補助金の追加、基金繰入金の減額、平成27年度繰越金確定に伴う追加。

歳出では、国保業務システム改修、基金積立金並びに国庫支出金等清算金の追加によるものです。

○病院事業会計補正予算(第3号)

補正予算(第3号)

平成26年に北海道後期高齢者医療広域連合に対して会計検査院の实地検査が行われ、その調査の結果、診療報酬の返還が求められたことにより追加するものです。

○介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正予算(第1号)

主に歳入では、基金繰入金並びに平成27年度繰越金確定に伴う追加。歳出では、地域支援事業費、国庫支出金等清算金の追加によるものです。

条例制定等

○南幌町防災行政無線設置条例(制定)

新たな防災行政無線の整備のため。

○南幌町地区集落センターの設置及び管理に関する条例(改正)

晩翠地区集落センターの利用料金改定のため。

○南幌町管土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例(改正)

土地改良法の一部改正のため。

人事案件

○教育委員会委員の任命

- 中鉢 須美子さん(中樹林)
- 向井 亜紀さん(北町)
- 久保 康則さん(西町)

その他

○南幌町財政健全化判断比率等の報告

平成27年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について報告がありました。

足比率について報告がありました。

○教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告

平成27年度の教育委員会の活動状況に関する点検評価について報告がありました。

○町出資法人の経営状況報告

(株)南幌振興公社の経営状況について報告されました。

○町管土地改良事業の施行について(新夕張川地区)

○町管土地改良事業に伴う賦課金の徴収について(新夕張川地区)

○町管土地改良事業の施行について(中樹林地区)

○中樹林揚水機場の管理事務の受託について

○町管土地改良事業に伴う賦課金の徴収について(中樹林地区)

○町管土地改良事業の施行について(幌向地区)

○幌向揚水機場の管理事務の受託について

○町管土地改良事業に伴う賦課金の徴収について(幌向地区)

○町管土地改良事業に伴う賦課金の徴収について(幌向地区)

意見書

次の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 農業・農村を崩壊させかねない農政改革とTPPの拙速な国会承認の反対を求める意見書
- 「米政策改革」の抜本的見直しを求める意見書
- 指定団体制度の堅持など酪農政策の確立に関する意見書

※意見書とは、地方公共団体の公益に関することに關して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。



幌向揚水機場

# 一般質問

2人の議員が一般質問に立ち  
町長・教育長の考えをただしました

**問** 子供たちの「生きる力」に新聞の活用を

**答** 取り組みについて各学校と協議

原田 弘克 議員



原田議員

学習指導要領の中で、「児童の生きる力をはぐくむことを目指し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力と態度を養い、個性を生かす教育の充実に努め、児童の言語活動を充実しなければならぬ」と記されています。社会の激しい変化とグローバル化の時代を乗り切り、18歳選挙権の実施に伴う政治への関心を深め、必

要な個性を磨くため、「教育に新聞を」というNIEの実践活動の取り組みを本町の学校教育にも取り入れる必要があると思えますが考えを伺います。

教育長

本町では、小学校は国語科で興味・関心を持った記事を読ませ、意見や感想をつけ加え交流する学習や新聞の構成、見出し、書き方を参考にし、調べ学習の成果を壁新聞の形にまとめ、中学校では、社会科で18歳選挙権や政治などの記事を題材に、自分の思いや考えを表現する授業を行い、生徒みずからが取材、編集する壁新聞づくりに取

り組むなど、新聞の活用を通して情報を整理し選択する力、文章をまとめる力、考える力などの育成に繋がっています。学校教育への新聞の活用は、児童生徒にとって思考力、表現力、読解力をはぐくむために有効な手段であり、今後も教育課程の中で、さらに工夫をこらした実践活動などNIEの取り組みについて、各学校と協議してまいります。

その他の質問

**問** 記憶に残る「ふるさと南幌」の取り組みを。

**教育長** たくみ祭りなど、さらに充実が図られるよう支援してまいります。

**問** 町立病院の今後の運営と方向性は

**答** 方向性を定め改革プランを立てる

志賀浦 学 議員



町長

員会で行う考えはないのか。

志賀浦議員

本年4月から内科医2名体制による新体制でスタートしました。そこで今後の病院運営について伺います。

①過去に何度も出されている、町立病院改革プラン等の実施で病院経営に反映されていないのは、どこに問題があるのか。

②病院会計に一般会計からの繰り出しが2年間で1億4千万円となるが、いつまで続くのか。

③今回のボイラー改修のほかに今後建物の改修は、どの程度予定して、概算でどのくらいかかるのか。

④夜間救急は内科での対応となるが、夜間救急のネットワーク化は考えていないのか。

⑤経営改善計画に対する点検評価を外部による評価委

町立病院は江別市立病院から常勤医師2名の支援を受けて、大きな混乱もなく診療が継続されております。

①病院改革は3年くらいの頻度で改革プランをつくり、常に現状を見ながら病院を安定経営に持っていくことを目標としています。

②町民の命・健康を守るために、応分の負担はしていかなければなりません。

③ボイラー以外の改修については、実施設計中で、検討しているところです。

④救急部門は、それぞれの自治体が担い、他の自治体にお願するものではなく、広域でやれるかは今後の検討課題ですが厳しい状況です。

⑤点検評価については、一度外部で行い、国の機関からも評価いただいて、意見をもとに改革プランを立て進めてきており、病院の方向性を定めて改革してまいります。

# 決算審査特別委員会

## 平成27年度各会計決算を認定

**第3回定例会**において、一般会計ほか5特別会計及び病院事業会計の27年度決算をいずれも決算審査特別委員会（志賀浦委員長ほか委員8名）に付託されました。決算審査特別委員会は、9月9日から3日間の日程で審議し、賛成全員で「原案のとおり認定すべきもの」と決定し、報告しました。委員会での質疑を要約して掲載します。

### 総務費

**委員** ふるさと応援寄附金について、クレジット決済の件数・手数料は。

**総務課** ふるさとチョイスクレジット決済が4,838件、手数料は寄附金の1%、コンビニが339件、手数料は63円、郵便局が845件、手数料は30円です。

**委員** 京都市京北に保有している町の山林管理について、どのように把握しているのか、今後どのようにしていくのか。

**総務課** 組合に管理を委託し、大雨時等は連絡が来ることになっています。今後は資産価値を見きわめながら検討します。

**委員** クレー射撃場について、今後の維持管理は。  
**総務課** 建物老朽化の状況を見ながら維持管理していきます。

**委員** 文書広報費について、ホームページリニューアル後のアクセス件数は。  
**まちづくり課** セッション数は144,740件で月平均になるとリニューアル前7,579件から12,061件に増加しています。



**委員** 賦課徴収について、休日窓口をやめた影響は。  
**税務課** 平成27年度夜間実績は10名、19件、271,900円。コンビニ収納や個別での電話や文書催告を行っています。

### 民生費

**委員** 自殺予防対策について、うつ病スクリーニングの増加理由は。  
**保健福祉課** 40〜64歳の健診を対象としていましたが、予防対策のため特定健診受診者全員を対象としたため増加しました。

### 衛生費

**委員** 成人保健事業について、がん検診受診率をどう考えているか。  
**保健福祉課** 検診に関する関心の薄さを感じます。広報等の周知を行っています。平成28年度から40歳以上検診対象者個人への受診券送付、負担金の見直し（減額）、対象医療機関の拡充、検診日程の拡充、がん検診費用償還払制度などの対策をとっています。

### 農林水産業費

**委員** 地産地消コンテストの結果について。  
**産業振興課** 38名の提出があり、10点を表彰対象としました。男の料理教室での実践やほろろで掲示を行っています。将来的には御当地グルメ化を目指しています。



地産地消コンテスト表彰式

### 商工費

**委員** 南幌温泉について、今後の改修計画はいつできるのか。  
**産業振興課** 施設が20年以上経っており、どのような修繕が一番よいか年明けに公表したいと考えています。緊急性のあるものから行っていく予定です。

教育費



ぼろろ図書室

**委員** 図書室利用について、夜間の利用者数は、**生涯学習課** 平成27年度は620名、全体の4・6%の利用となっています。

**委員** 図書室利用の増加要因は、

**生涯学習課** 全年齢層で増加していますが、蔵書数の充実、図書システムの導入による検索の利便性の向上、レファレンスルームの空調整備により利用者が増加したと考えられます。

国民健康保険  
特別会計

**委員** 特定健診について、電話勧奨の実績を今後どのように考えるのか。

**住民課** 1,323件に電話をし、出られた方が779件、58・9%で未受診の理由を聞いています。今後分析していきます。

介護保険  
特別会計

**委員** あんしんキットの配布数は、

**保健福祉課** 平成27年度は244名に配布し、内訳は単身者44名、夫婦169名、その他31名です。

病院事業会計

**委員** 病床利用率について、今後の見通しは、

**町立病院** 一般病床の利用率は上がっています。療養病床はかなり厳しい状況です。

賛 否 の 公 表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の態度を公表します。

平成28年第3回議会定例会

平成28年度各会計補正予算、平成27年度各会計決算認定、条例案、人事案件など28議案について、議長を除く10名全ての議員が賛成しました。

※議長は採決に加わっていません。

議会懇談会を  
ご利用ください

目的

議員が地域の皆様と懇談することにより、議会活動への理解を深めていただくこと、議会の機能強化を目的としています。

実施内容

- 町内の5名以上の小グループや各種団体を対象として実施します。
- 地域における諸課題や議会活動・町政に対する意見等を議員が直接伺います。
- 開催に当たりテーマを決め、そのテーマに沿って懇談を進めます。
- 出席議員は開催内容に応じ議長が判断します。

その他

- 通年開催しています。
- 開催場所・時間については各地域の集会所または公共施設等で開催します。懇談時間は2時間以内とします。
- 申込等については、議会事務局へお問い合わせください。

全員協議会

8月30日

- 平成27年度教育委員会の活動状況に関する点検・評価について
- 防災行政無線について

委員会活動

(7月～9月までの開催分)

総務常任委員会

- 町立病院について  
9月1日・15日

産業経済常任委員会

- 担い手育成対策事業について
- 農業振興事業について
- 日生バイオ北海道工場視察  
7月14日

- 中央公園パークゴルフ場周辺用地について
- みどり野団地販売状況について  
9月2日

- 農業委員会農作物作況調査へ同行  
9月7日

議会運営委員会

- 定例会の運営について  
9月1日

まち活性化特別委員会

- 所管事務調査(平成28年度内政務調査)について
- 議会報告懇談会について
- 各委員会報告について  
9月14日

町政を知る良い機会

議会を傍聴しませんか!

第4回定例会は12月開催です。

※本会議の議事録は、役場、あいくる、ふれあい館の情報コーナー、ほろろ図書室並びにホームページでご覧になれます。

議員研修

議会広報研修会

北海道町村議会議長会主催による議会広報研修会が8月23日に札幌市で開催され、広報委員4名が参加しました。

議会広報サポーター芳野政明氏による議会広報誌の編集技術に関する講義のほか、道内10議会の広報誌の実例を用いた研修が行われました。

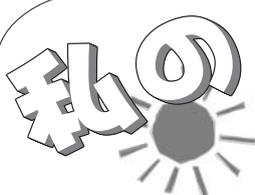
研修内容を今後の議会だよりに生かしていきます。



私のまち・ひと・しごと

議会だより表紙の方を紹介します。

なんぼろみどり会の皆さん



南幌町における農産物直売所の草分け的なグループ「なんぼろみどり会」は、昭和58年に青葉地区の女性を中心に南幌リバーサイドゴルフ場の駐車場を借り、ワゴン車で販売を始めました。

その後、南幌温泉駐車場の一角に直売所を建て、新鮮野菜の販売をする一方、加工施設を建設し、町内で生産される農産物を使用した「ブルーベリージャム」や「南蛮味噌」「三升漬け」などの加工品の販売も好評で、直売所を始め色々なイベントで町を代表する加工品として販売をしています。

「自分たちがつくったものは、自分たちで売る」をモットーに仲間同士の信頼と信用で築いた34年、女性の優しさ、強さ、思いの深さを感じました。

議会広報委員：内田 恵子